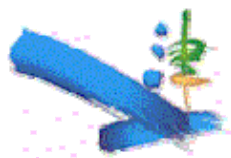


# 平成23年度 津高東京同窓会



語り合おう 元気を、  
そして 未来を！



35階からは小雨の東京



会場設営準備

(日時) 平成23年5月28日(土) 11時30分  
(場所) 東海大学校友会館(霞が関ビル35階)  
(出席) 155名

(主幹事) 昭和39年卒

(副幹事) 昭和51年卒

(来賓) 飯田俊司: 本部同窓会会長

田川敏夫: 本部同窓会副会長

佐々木とし子: 本部同窓会事務局

奥田務: 大阪同窓会会長

米虫和子: 大阪同窓会副会長

榎本和能: 津高校校長

伊藤昭彦: 恩師代表(S47～S55)



堀事務局局長交え最終確認



手拭いを全員にと、榊原温泉から



赤字は避けたいなあ～(物販)



雨だから出足が心配…(受付)



梅雨入りにもかかわらず、大阪、三重、名古屋からも上京され、大勢の参加者でした。有難うございました！

## 【ご挨拶】 谷口東京同窓会会長(要旨)

『東日本大震災で被災された方々に、心から御見舞い申し上げます。  
この状況を考慮しましたうえで、本日同窓会の開催を決めました。  
津高創立130周年、同窓会創立50周年となり、東京同窓会は21年目になりました。  
最近では輪番幹事方式にし、企画盛り沢山で毎回盛況になり御礼申し上げます。  
大震災、原発等の心配もありますが、今日は青春時代を津高に学んだ仲間が  
一同に集まりました。どうぞ楽しいひと時を過ごして下さい』

## 【ご来賓紹介】 司会/吉田

司会者より、ご出席7名の方の紹介がありました。



## 【ご挨拶】 飯田本部同窓会会長(要旨)

『今日のハプニングは講演者でもあります幼馴染みの入田君に会えたことでした。  
エーゲ海を巡る旅行、母校の教壇などの企画、また、母校のトレーニング機器購入  
への援助、大震災への義捐金100万円の日赤への送付などの活動を行ないました。  
津では若い知事の誕生、卒業生の津市長の誕生など話題豊富です。  
大河ドラマ「江」の舞台で津も紹介され、今年活気があふれています。  
津高大先輩で著名な陶芸家でもありました川喜多半泥子の記念館「石水会館」にも、  
是非、足を運んでください』



### 【ご挨拶】 榎本津高校校長(要旨)

『同窓会からの支援に感謝申し上げます。着任2年目ですが、リーダーの育成・地域での活躍などの伝統を守っております。最近の傾向として受け身で主体性に乏しい状況ですが、現在、新入生には4日間のガイダンスや志望校別グルーピングなどを取り入れています。

挨拶などの人格形成、人間力強化や学校行事・部活への積極的な参加なども進めています。

大学進学状況ですが、今年は医学系への進学が特徴的でした。

今後も津高が発展するよう全力で頑張ります』



### 【特別講演】 入田央さん(昭和39年卒/元気象庁予報官)



『3776 mで気象を観る』というテーマで、スクリーンを使い約30分の講演がおこなわれました。

梅雨入りの話から、台風の影響で西から雨が激しくなりつつある今日の同窓会後の予想を、天気図を示しわかり易い解説がまずありました。台風の核である中心気圧の測定は、子どもの頃は、沖縄米軍基地から飛ぶ飛行機で測定していたが、今は気象衛星を利用していること。

昔は13号など三重県にも多く台風が上陸し、それが気象に興味を持つきっかけに。また、南極観測が始まり、行きたいと思ったが、いろんな条件の制約があり断念したが、津高を卒業後、津測候所に入り、夢だった気象の現場に飛び込んだこと。

子供の頃からの夢、富士山の気象に携わりたい気持ちが膨らみ、電子工学の知識も必要とされ、働きながら東京電機大学に学んだこと。富士山測候所での勤務では、氷の上での登山、高山病など、登山経験が浅いなかでの体験談をエピソードを交え披露された。

また、台風の発生仕組みから地球の温暖化、エネルギー問題など、その原因が人為的なものとの指摘も取り上げ、未来に向けたライフスタイルを考えるきっかけになるように…と、皆さんに熱弁を、しかし、伊勢弁を交えた平易な言葉で解説していただいた。

(著書:「トコトンやさしい気象の本」(日刊工業新聞社2010年刊)は会場に置きましたが、あっという間になくなりました。)

### 【乾杯】 田川本部同窓会副会長

東京同窓会にご来賓として初めてきていただいた昭和32年卒の田川様からは、『今後の益々の発展と、皆さんのご健勝を祈って』と、力強いご発声をいただきました。また、今回は歴史コーナーを設け、大河ドラマにちなんだ話題として、津の作家難波さんの『お市とお江』の本のご紹介がありました。置きました30冊は完売だったようです。

このころ、12時半。

参加いただいた皆様は、お待ちかねの歓談時間が始まり、元気良く“カンパイ!”の大声が会場に響きわたり『年次別懇親会』が始まりました。

なお、今日のお酒は51年卒鈴鹿の清水醸造さんからのものでした。



外は小雨で寒い日でしたが、中は熱気むんむんでした。



和洋中、沢山料理が並びましたがさすが津高卒業生、整然と…。



津からキャラバン隊の『ゴーちゃん』も一役。津市から岸田様、そして谷河原さん、菅家さん。霞が開まで有難うございました。



NHKからも大河の番組ポスターが送られてきました。

**【最年少会員】 賀来萌葉さん**

震災などの影響で土曜日授業が多く、大学新入生が出席できず恒例の新入会員紹介はなく、唯一大学生で出席された賀来さんに登場いただいた。  
3年生ということで、一番に就職の問題がありますが、比較的ゆったりと構えています、との微笑ましい挨拶がありました。  
全ての方が年上という中で、堂々と、かつ、女性らしく柔らかい口調で話された。  
平成21年津高卒。現在、慶応大学経済学部3年在学中。  
津市岩田ご出身です。



**【地区別懇親会】へ**

恒例になった「年次別」から「地区別」への席替えです。霞が開は、さらに盛り上がっていきました。

(大阪同窓会より)

奥田会長(左)昭和33年卒  
米虫副会長(右)昭和39年卒  
の二人にお祝いのお言葉を頂戴いたしました。



伊藤先生(左)は国語担当。お元気な声で40年前の津高のお話でした。雨の中、四日市からの上京です。  
飯田会長(右)は大河ドラマ「江」地域活性化協議会の会長としても地元津のアピールを精力的に取りくまれています。



歴史コーナーの一角にはS39卒の歴史作家吉川さん(左)の著作も並び、「江」とともに地元三重に関わる楠木一族の興味深い講話がありました。



(右) ご来賓のみなさま  
雨の中、有難うございました。



**物販コーナーでは**

「赤塚の健康飲料パイロゲン」  
「平治せんべい」「不老柿」「伊勢茶」  
「東洋軒の黒カレー」「サンマ丸干し」  
井村屋さんの「ゴーちゃんカステラ」と「備蓄用えいようかん」など。  
(販売書籍として)  
入田央「トコトコやさしい気象の本」  
吉川佐賢「楠木正成夢の花」「小楠公」  
難波綾子「お市とお江」



S39年卒

S51年卒

“お土産にどうぞ～！”

司会者の紹介で商品案内。  
物販担当と、女性陣のおかげで売り切れになりました！！



### 【校歌斉唱】

(三重県立津中学校校歌)  
稲葉様は車椅子での登壇でしたが、“…祖先の遺流守れ永遠に”と背筋を伸ばし力強く唄われました。

(三重県立津高等女学校の歌)  
信藤様はバスケットボール部で鍛えられたはりの有るお声。左右の51年卒女性も思わず合唱を忘れるほどの見事な歌いっぷり。  
毎年お聴きしたいと思いました。



昭和18年津中(陳川)卒業の稲葉慶一さま。



昭和11年三重櫻卒業の信藤節子さま。

(副幹事の女性陣が傍に、歌唱に自信がない39年卒として助かりました！)

### (三重県立津高等学校校歌)

山口誓子・詞、信時潔・曲

♪♪ 眼を放つ～ 布引は～

山をたたみて～ 聳えたち～

常に吾等を～ さとすなり～

吾等の思ひ～ 山に似て～

あの日、あのとき、あの友…

通学路、校舎、グラウンド、図書室、体育祭、修学旅行…

この日ばかりは今を忘れ

思いつき皆で歌い上げました！



### 【輪番幹事引継ぎ式】

今年の幹事昭和39年卒から、来年の幹事40年卒の方への引継ぎです。  
40年卒からは11名の方が出席されました。

佐々木智さんから代表して挨拶をいただき、今年にまけない盛況な同窓会にしたい！という力強い宣言がありました。

期待しております！ よろしくお願ひいたします。

このあと、39年卒とガッチリ握手、来年に向け準備に入られます。



### 【閉会の辞】

本年度同窓会幹事昭和39年卒を代表して松浦修がお礼と閉会の言葉で、終えました。  
『副幹事として積極的に協力いただいた51年卒の方々、前年38年卒の方からのお知恵、46年卒堀事務局長からのご指導など、津高同窓という縦の太い幹があつてこそできたこと。横軸の同期の集まりと、中心の太い幹を組み合わせて、今後も強く発展すべきです。』

またそのために、同窓会は故郷を想い懐かしむだけではなく、情報と知識を交流できる出会いの場としても、とらえていって欲しい。津高に関わってきた仲間たちの共通軸を永久のものとし、さらに幅広く活用して、同窓会が発展するよう願っています』

司会者の吉田智代さん、本当にお疲れ様でした。



**持つべきものは仲間、そして同窓 …… 協力して東京同窓会ガンバリました！**



昭和51年卒の皆さん



昭和39年卒の皆さん

昭和39年卒幹事チーム(文責/松浦)